

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	N.T.	学部・学科	国際商学部国際商学科
学年	3	派遣国	ドイツ
派遣大学	ゲーテ大学		
期間	2023年 9月 4日～ 2024年 8月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	△	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (5万) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (30) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	2万円	
学用品購入費	0円	
交通費	0円	
交際費	3万円	
その他	円	
合計	5万円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

HBF の周りは深夜に一人で歩かないほうがいい。
いったとしてもトラムの駅まで。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(計十万程度) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	TK		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(月1万) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (**フランクフルト**)
東京と比べたらなんもないけれど、ドイツの中では何でもあるほう。
学生も多いし、ドイツは基本治安いいから遅くまで遊んでいても基本大丈夫。
日本食が恋しくなったら、T s t y l e に行くか、くしやいちかわに行けば大丈夫。たくさんラーメン屋さんもあるし、go asia もある。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ゲーテ大学	所在地	フランクフルト
最寄空港	フランクフルト国際空港	空港からの距離	車30分
空港⇄大学	(電車) *移動手段		
学生数	48,000	留学生数	7,600
学部	01 Law 02 Faculty of Economics and Business 03 Social Sciences 04 Educational Sciences (German) 05 Psychology and Sports Sciences 06 Protestant Theology 07 Roman Catholic Theology 08 Philosophy and History 09 Faculty of Linguistics, Cultures, and Arts (German) 10 Modern Languages 11 Geosciences and Geography 12 Computer Science and Mathematics 13 Physics 14 Biochemistry, Chemistry and Pharmacy (German) 15 Biological Sciences 16 Faculty of Medicine *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of Economics and Business *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					積極的な投資家の視点からのガバナンス
午後	財政のリーダーシップ	ドイツ語		ドイツ語	

② ()月～()月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		ドイツ語	国際ファイナンス	国際ファイナンス	
午後	気候変動のマクロ経済			ドイツ語	

3. 履修内容

科目	INTERNATIONAL FINANCE		
履修期間	WINTER SEMESTER	単位数	6
授業内容／形態	F X とかの様々な取引を学ぶ。 対面講義録画なし 一番役に立って、わかりやすくてよかった。		
成績	テスト		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	A k a d e m i		
履修期間	両セメスター	単位数	各6
授業内容／形態	対面週二回 クラスで協力し合って学ぶことが多いので友達ができて楽しい		
成績	プレゼンテーション、筆記試験		
YCU 振替予定	科目	ドイツ語教養実践	
	単位数	8	
	担当教員	スザンネマターイ	

科目	財政でのリーダーシップ		
履修期間	W i n t e r	単位数	6
授業内容／形態	対面講義形式 講義録画なし		
成績	テスト		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	気候変動のマクロ経済学		
履修期間	S o m m e r	単位数	6
授業内容／形態	対面形式、スライドで授業を説明する形式 近年の気候変動について、マクロの視点から考える		
成績	テスト		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

ゲーテ大学の一年間の留学を通しての感想です。

ドイツについて：

ドイツは、とても大きく他民族国家です。移民が多く、アジア人や、日本人として生きづらさを感じることはほとんどありませんでした。

言語面も、田舎のほうに行くともた違うのかもしれませんが、フランクフルト周辺は英語が通じる人がほとんどであり困ることがありませんでした。

治安はほかのヨーロッパ諸国と比べたらよいほうです。家賃さえどうにかすれば生活費も安く済む、また留学生も制限ありでアルバイトができるので、なかなかいい国だと思います。

フランクフルトについて：

フランクフルトは、ドイツでおそらく五番目以内に入る大きい都市で、金融の中心地です。中央駅周辺は、基本治安が悪く、窃盗、薬物、刺傷、銃殺などもありました。

個人的には危険に会うことはなくてよかったです。深夜でも、危険な区域を避けて、特に男性と行動していれば、大丈夫な気がします。

ほかの都市と比べたら娯楽が多かったので余暇を楽しむことができました。

ゲーテ大学について：

ゲーテ大学の組織というわけではないけれど、esn（エラスムスの学生の集まり）があり、そこでたくさんの国からきているたくさんの留学生の友達を作ることができます。

また、言語カフェ、タンデム、バディープログラムも整っており、個人的にはとてもありがたかったです。

欠点としては、ドイツ人と知り合う機会が少し少ない気がします。

結果的には、バディーのバディーや、ゲーテ大学には日本語学科があり、そこで日本、日本語に興味ある人たちと偶然知り合ったり仲良くなったりしたのですが、その点で私は、大変恵まれたパターンであると思います。

ドイツ人は人間関係に対してクールだと思われがちだと思いますが（正しいといえば正しいですが）中にはご飯を一緒に食べに行ったり、サッカーを観に行ったり、ドライブに連れて行ってくれたり、空港まで送ってくれたりしてくれた本当に心優しい人もいます。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今回の留学で、勉強をしっかりしなければならないと学びました。日本の大学は、入るまでのストレスはとんでもないけれど、入学したらだいぶ楽なので、これに慣れてからゲート大学に入ったらとても辛くて驚きました。

とりあえず、当たり前のことかもしれないけれど、予習、授業、復習のサイクルを作る。特に、私が優秀だと思う人達は特に、図書館にこもっています。(そしてその隙間時間にたくさん遊んでいる)

そういう人たちの姿をみて、たくさん刺激を受けました。今後は自分に言い訳せず、時間を作って隙間時間でも勉強していきたいと思います。

もちろん勉強だけでなく、休暇をたくさん取るところも見習って、メリハリをつけて生きていきたいと思います。

また、将来は日本で就職したいと思っていましたが、留学を経て、海外で就職したいという気持ちが高まりました。それに対しても計画を立てて、現実的に海外移住を検討したいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

留学に来たら英語が喋れるようになるというのは大きな間違いです。

もちろん留学に来て、英語が喋れるようになる人はいます。少なくないです。

ですが、日本人の中には、群れて固まり、日本人以外の友達がほとんどいない人や、逆に、日本人と群れたくないと群れから離れ、しかし欧米人ともなじめず、一人の世界に閉じこもってしまう人などがいます。

自分の留学の目的が、その交換留学をする学科の勉強をするためだけだったら、自分が後悔しないのであれば、勝手にすればとは思いますが、数百万円かけて留学に行って、机に座って、日本語のウェブサイトを探して日本でもできる勉強をすることに一体そこまでのお金をかける価値があるのでしょうか。

もちろん、そういう人たちでもそれなりにしゃべる力は伸びるでしょう。

ですが、もし自分が費やすお金を最大限生かすことを考えたら、個人的には友達をたくさん作り、ばんばん話し英語力を向上させることが良いと思います。(または、恋人)